

東北厚生局長 殿

山形大学医学部附属病院長
久保田 功

山形大学医学部附属病院の業務に関する報告について

標記について、医療法（昭和 23 年法律第 205 号）第 12 条の 3 の規定に基づき、平成 23 年度の業務に関して報告します。

記

- 1 高度の医療の提供の実績 → 別紙参照(様式第 10)
- 2 高度の医療技術の開発及び評価の実績 → 別紙参照(様式第 11)
- 3 高度の医療に関する研修の実績

研修医の人数	194人
--------	------

(注) 前年度の研修医の実数を記入すること。

- 4 診療並びに病院の管理及び運営に関する諸記録の体系的な管理方法
→ 別紙参照(様式第 12)
- 5 診療並びに病院の管理及び運営に関する諸記録の閲覧方法及び閲覧の実績
- 6 他の病院又は診療所から紹介された患者に対する医療提供の実績
→ 別紙参照(様式第 13)
- 7 医師、歯科医師、薬剤師、看護師及び准看護師、管理栄養士その他の従業者の員数

職種	常勤	非常勤	合計	職種	員数	職種	員数
医師	309人	13人	313.6人	看護補助者	43人	診療エックス線技師	0人
歯科医師	11人	0人	11.0人	理学療法士	6人	臨床検査技師	31人
薬剤師	26人	0人	26.0人	作業療法士	4人	衛生検査技師	0人
保健師	0人	0人	0人	視能訓練士	3人	その他	0人
助産師	11人	0人	11.0人	義肢装具士	0人	あん摩マッサージ指圧師	0人
看護師	496人	19人	510.7人	臨床工学技士	9人	医療社会事業従事者	2人
准看護師	0人	0人	0人	栄養士	1人	その他の技術員	6人
歯科衛生士	1人	0人	1.0人	歯科技工士	1人	事務職員	69人
管理栄養士	6人	0人	6.0人	診療放射線技師	28人	その他の職員	131人

- (注) 1 報告を行う当該年度の 10 月 1 日現在の員数を記入すること。
- 2 栄養士の員数には、管理栄養士の員数は含めないで記入すること。
- 3 「合計」欄には、非常勤の者を当該病院の常勤の従事者の通常の勤務時間により常勤換算した員数と常勤の者の員数の合計を小数点以下 2 位を切り捨て、小数点以下 1 位まで算出して記入すること。それ以外の欄には、それぞれの員数の単純合計員数を記入すること。

- 8 入院患者、外来患者及び調剤の数
歯科、矯正歯科、小児歯科及び歯科口腔外科の入院患者及び外来患者の数

	歯科等以外	歯科等	合計
1日当たり平均入院患者数	545.0人	9.8人	554.8人
1日当たり平均外来患者数	1,095.4人	39.2人	1,134.6人
1日当たり平均調剤数		717.3剤	

- (注) 1 「歯科等」欄には、歯科、矯正歯科、小児歯科及び歯科口腔外科を受診した患者数を、「歯科等以外」欄にはそれ以外の診療科を受診した患者数を記入すること。
- 2 入院患者数は、年間の各科別の入院患者延数(毎日の 24 時現在の在院患者数の合計)を暦日で除した数を記入すること。
- 3 外来患者数は、年間の各科別の外来患者延数をそれぞれ病院の年間の実外来診療日数で除した数を記入すること。
- 4 調剤数は、年間の入院及び外来別の調剤延数をそれぞれ暦日及び実外来診療日数で除した数を記入すること。

高度の医療の提供の実績

1 承認を受けている先進医療の種類(注1)及び取扱患者数

先進医療の種類	取扱患者数
神経変性疾患の遺伝子診断	4人
難治性眼疾患に対する羊膜移植術	11人
先天性難聴の遺伝子診断	0人
インプラント義歯	0人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人

(注1) 「先進医療の種類」欄には、厚生労働大臣の定める先進医療及び施設基準(平成二十年厚生労働省告示 第百二十九号)第二各号に掲げる先進医療について記入すること。
(注2) 「取扱患者数」欄には、前年度の年間実患者数を記入すること。

(様式第10)

高度の医療の提供の実績

2 承認を受けている先進医療の種類(注1)及び取扱患者数

先進医療の種類	取扱患者数
該当なし	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人

(注1) 「先進医療の種類」欄には、厚生労働大臣の定める先進医療及び施設基準(平成二十年厚生労働省告示
第百二十九号)第三各号に掲げる先進医療について記入すること。

(注2) 「取扱患者数」欄には、前年度の年間実患者数を記入すること。

(様式第10)

高度の医療の提供の実績

3 その他の高度の医療

医療技術名	取扱患者数	人
当該医療技術の概要 該当なし		
医療技術名	取扱患者数	人
当該医療技術の概要		
医療技術名	取扱患者数	人
当該医療技術の概要		
医療技術名	取扱患者数	人
当該医療技術の概要		
医療技術名	取扱患者数	人
当該医療技術の概要		
医療技術名	取扱患者数	人
当該医療技術の概要		
医療技術名	取扱患者数	人
当該医療技術の概要		
医療技術名	取扱患者数	人
当該医療技術の概要		
医療技術名	取扱患者数	人
当該医療技術の概要		

(注) 当該医療機関において高度の医療と判断するものが他にあれば、前年度の実績を記入すること。

高度の医療の提供の実績

4 特定疾患治療研究事業対象疾患についての診療

疾患名	取扱患者数	疾患名	取扱患者数
・バーチエット病	48人	・膿疱性乾癬	2人
・多発性硬化症	17人	・原発性胆汁性肝硬変	47人
・重症筋無力症	36人	・重症急性膵炎	6人
・全身性エリテマトーデス	38人	・特発性大腿骨頭壊死症	9人
・スモン	1人	・混合性結合組織病	28人
・再生不良性貧血	27人	・原発性免疫不全症候群	1人
・サルコイドーシス	47人	・特発性間質性肺炎	5人
・筋萎縮性側索硬化症	7人	・網膜色素変性症	38人
・強皮症、皮膚筋炎及び多発性筋炎	69人	・肺動脈性肺高血圧症	2人
・特発性血小板減少性紫斑病	27人	・神経線維腫症	30人
・結節性動脈周囲炎	16人	・バッド・キアリ(Budd-Chiari)症候群	1人
・潰瘍性大腸炎	159人	・ライソゾーム病	2人
・大動脈炎症候群	7人	・脊髄性筋委縮症	2人
・ビュルガー病	10人	・球脊髄性筋委縮症	1人
・天疱瘡	14人	・慢性炎症性脱髄性多発神経炎	2人
・脊髄小脳変性症	33人	・肥大型心筋症	25人
・クローン病	61人	・ミトコンドリア病	1人
・難治性の肝炎のうち劇症肝炎	1人	・黄色靱帯骨化症	1人
・悪性関節リウマチ	5人	・間脳下垂体機能障害 (PRL分泌異常症、ゴナドトロピン分泌異常症、ADH分泌異常症、下垂体性TSH分泌異常症、クッシング病、先端巨大症、下垂体機能低下症)	83人
・パーキンソン病関連疾患(進行性核上性麻痺、大脳皮質基底核変性症及びパーキンソン病)	126人		
・アミロイドーシス	1人		
・後縦靱帯骨化症	23人		
・ハンチントン病	4人		
・モヤモヤ病(ウイリス動脈輪閉塞症)	30人		
・ウェグナー肉芽腫症	5人		
・特発性拡張型(うつ血型)心筋症	19人		

(注) 「取扱患者数」欄には、前年度の年間実患者数を記入すること。

(様式第10)

高度の医療の提供の実績

5 健康保険法の規定による療養に要する費用の額の算定方法に先進医療から採り入れられた医療技術

施設基準等の種類	施設基準等の種類
・該当なし	・
・	・
・	・
・	・
・	・
・	・
・	・
・	・
・	・
・	・
・	・
・	・
・	・
・	・
・	・
・	・
・	・
・	・
・	・
・	・
・	・

(注)「施設基準等の種類」欄には、業務報告を行う3年前の4月以降に、健康保険法の規定による療養に要する費用の額の算定方法(平成六年厚生省告示第五十四号)に先進医療(当該病院において提供していたものに限る。)から採り入れられた医療技術について記入すること。

6 病理・臨床検査部門の概要

臨床検査及び病理診断を実施する部門の状況	① 臨床検査部門と病理診断部門は別々である。 2. 臨床検査部門と病理診断部門は同一部門にまとめられている。
臨床部門が病理診断部門或いは臨床検査部門と開催した症例検討会の開催頻度	16回/年
剖 検 の 状 況	剖検症例数 28例 / 剖検率 8.5%

(様式第11)

高度の医療技術の開発及び評価を行う能力を有することを証する書類

1 研究費補助等の実績

研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額	補助元又は委託元
HMGB1の心筋梗塞縮小効果の検討:新しい血管新生治療の開発	久保田 功	第一内科	1,000,000	補委 文部科学省科科学研究費
microRNA・尿プロテオーム解析による腎障害発症機序の解明とその臨床応用	今田 恒夫	第一内科	1,500,000	補委 文部科学省科科学研究費
動脈硬化性アテロームの進展および破綻におけるMafBの役割の解明	渡邊 哲	第一内科	1,000,000	補委 文部科学省科科学研究費
新規遺伝子改変マウスを用いた転写因子MafBの気腫化肺形成に関わる機序の探求	柴田 陽光	第一内科	7,800,000	補委 文部科学省科科学研究費
新規遺伝子変換マウスによるCCL1の呼吸器細菌感染症における機能解析	井上 純人	第一内科	1,100,000	補委 文部科学省科科学研究費
腎血管障害における抗酸化酵素Paraoxonase-1の役割と作用機序の解明	市川 一誠	第一内科	1,200,000	補委 文部科学省科科学研究費
ドキシソルピシン心筋症発症におけるユビキチン転移酵素Itohの機能の検討	高橋 大	第一内科	1,400,000	補委 文部科学省科科学研究費
Shear stressによる大動脈弁石灰化機序解明に関する研究	宮本 卓也	第一内科	1,400,000	補委 文部科学省科科学研究費
心房細動・心筋焼灼術の心臓交感神経機能の評価とテーラーメイド治療への応用	有本 貴範	第一内科	1,500,000	補委 文部科学省科科学研究費
尿中プロテオーム解析による慢性腎臓病の機序と進行リスクの疫学的検討	池田 亜美	第一内科	1,800,000	補委 文部科学省科科学研究費
臓器組織間の相互作用とエピジェニック制御による早期心不全の治療戦略の開発	穴戸 哲郎	第一内科	2,000,000	補委 文部科学省科科学研究費
C型肝炎ウイルスNS3蛋白質と宿主病態制御分子の相互作用に関する研究	齋藤 貴史	第二内科	1,100,000	補委 文部科学省科科学研究費
C型肝炎ウイルス株間における感染性キメラウイルスを用いた感染中和メカニズムの解析	渡辺 久剛	第二内科	900,000	補委 文部科学省科科学研究費
生活習慣を考慮した、糖尿病、高血圧、等の生活習慣病の危険遺伝因子の解析	大門 眞	第三内科	500,000	補委 文部科学省科科学研究費
パーキンソン病治療標的としての α -シヌクレイン発現抑制のin vivo解析	荒若 繁樹	第三内科	2,700,000	補委 文部科学省科科学研究費
パーキンソン病におけるリン酸化 α -シヌクレインとドパミン代謝異常に関する解析	小山 信吾	第三内科	500,000	補委 文部科学省科科学研究費
耐糖能障害は感染性呼吸器疾患発症の危険因子となりうるか、舟形町疫学研究	大泉 俊英	第三内科	2,100,000	補委 文部科学省科科学研究費
遺伝性ニューロパチーの病態解明	早坂 清	小児科	1,100,000	補委 文部科学省科科学研究費
年齢依存性てんかん性脳症の分子病態解明と分子シャペロン療法開発	加藤 光広	小児科	1,000,000	補委 文部科学省科科学研究費
先天性好中球減少症におけるG-CSF受容体遺伝子異常の臨床的・生物学的意義	三井 哲夫	小児科	1,100,000	補委 文部科学省科科学研究費
リポ蛋白糸球体症の疫学および病態解明	橋本 多恵子	小児科	1,700,000	補委 文部科学省科科学研究費
環境と遺伝子の相互作用が人格形成に与える影響	大谷 浩一	精神科	700,000	補委 文部科学省科科学研究費
嗜銀顆粒性認知症の画像診断とアポリポ蛋白E多型	川勝 忍	精神科	1,200,000	補委 文部科学省科科学研究費
うつ病の治療抵抗性に関与する心理的・生物学的要因の検討	鈴木 昭仁	精神科	300,000	補委 文部科学省科科学研究費

遺伝性色素異常症病因遺伝子の機能の 解明	鈴木 民夫	皮膚科	1,000,000	補 委	文部科学省科科学研究費
遺伝性体側性色素異常症におけるリボ核 酸編集障害とウイルス防御機構破綻の解 析	林 昌浩	皮膚科	1,700,000	補 委	文部科学省科科学研究費
MRIを用いた脳動脈解離診断法の確立	細矢 貴亮	放射線診断科	1,300,000	補 委	文部科学省科科学研究費
新しいバイオマーカーを用いた食道癌照 射野の個別化	根本 建二	放射線治療科	1,100,000	補 委	文部科学省科科学研究費
放射線照射マウス/ラットにおける酸化ス トレス値上昇機序と発現遺伝子の解明	野宮 琢磨	放射線治療科	1,500,000	補 委	文部科学省科科学研究費
グリオーマ幹細胞のMGMT発現における MAPK経路の役割	佐藤 篤	脳神経外科	1,600,000	補 委	文部科学省科科学研究費
人工関節インプラント感染症における自然 免疫機構Toll様受容体の機能解析	高木 理彰	整形外科	700,000	補 委	文部科学省科科学研究費
新たな視点での卵巣がん薬剤耐性化の解 明:メタボロミクスの応用とオートファジー解 析	倉智 博久	産婦人科	3,400,000	補 委	文部科学省科科学研究費
閉経後女性の内臓脂肪蓄積機構の解明 —メタボローム解析による創薬に向けた基 礎的研究	高橋 一広	産婦人科	2,300,000	補 委	文部科学省科科学研究費
エストロゲン受容体 α と β を介した誘導型 NO合成酵素発現調節に関わる共役因子 の解析	堤 誠司	産婦人科	500,000	補 委	文部科学省科科学研究費
加齢による卵の質の低下の分子機構—メ タボロミクスとオートファジー解析—	高橋 俊文	産婦人科	1,200,000	補 委	文部科学省科科学研究費
癌幹細胞を標的とした卵巣癌における新し い分子標的治療の開発	太田 剛	産婦人科	900,000	補 委	文部科学省科科学研究費
SERMの子宮内膜上皮細胞に対する増殖 促進・抑制作用の分子機構の解析	網田 光善	産婦人科	1,500,000	補 委	文部科学省科科学研究費
硝子体細胞—血管細胞連関による網膜血 管環境安定化機構と糖尿病網膜症治療法 開発	山下 英俊	眼科	700,000	補 委	文部科学省科科学研究費
眼内増殖性網膜疾患病態解明に向けた硝 子体細胞の機能解析と治療戦略	西塚 弘一	眼科	1,700,000	補 委	文部科学省科科学研究費
トロンボモジュリンの眼組織での作用研究と その臨床応用	難波 広幸	眼科	1,700,000	補 委	文部科学省科科学研究費
Lipid raftによるOHC細胞骨格制御機構 —聴覚における脂質の機能解明—	欠畑 誠治	耳鼻咽喉科	3,600,000	補 委	文部科学省科科学研究費
IgG4硬化性疾患の病態の解明と関与分 子を標的とした治療法の開発	太田 伸男	耳鼻咽喉科	1,200,000	補 委	文部科学省科科学研究費
マイクロRNAによる泌尿器科癌の癌(抑 制)遺伝子制御の研究	富田 善彦	泌尿器科	600,000	補 委	文部科学省科科学研究費
セボフルラン曝露による麻酔科医師の遺伝 毒性影響に関する研究	大瀧 恵	麻酔科	100,000	補 委	文部科学省科科学研究費
副甲状腺ホルモン受容体PTH1Rの発現抑 制による口腔癌転移の制御	宮下 仁	麻酔科	1,700,000	補 委	文部科学省科科学研究費
耳介軟骨細胞を利用した再生軟骨による 顎関節再建に向けた戦略的研究	飯野 光喜	歯科口腔・形成外科	900,000	補 委	文部科学省科科学研究費
訴訟症例分析とデータマイニングによる 歯科医療事故防止のためのガイドラインの作 成	小林 武仁	歯科口腔・形成外科	300,000	補 委	文部科学省科科学研究費
歯科医師の遺伝毒性影響に関する研究	石川 恵生	歯科口腔・形成外科	1,500,000	補 委	文部科学省科科学研究費
低酸素ストレス負荷における脳内グリア 細胞の応答と神経細胞に与える影響	伊関 憲	救急科	900,000	補 委	文部科学省科科学研究費
ヒトの質感認知の脳神経メカニズムに関 する臨床的研究	鈴木 匡子	高次脳機能科	3,800,000	補 委	文部科学省科科学研究費
がん治療に伴う高次脳機能障害に関する 統合的研究	鈴木 匡子	高次脳機能科	700,000	補 委	文部科学省科科学研究費
発話における遠心性コピーの神経機構:頭 蓋内脳波による検討	丹治 和世	高次脳機能科	1,700,000	補 委	文部科学省科科学研究費
頭頸部扁平上皮癌根治治療後のTS-1補 助化学療法法の検討	小池 修治	耳鼻咽喉科	0	補 委	財団法人先端医療振興財団

膵がん切除後の補助化学療法における塩酸ゲムシタピン療法とS-1療法の第Ⅲ相比較試験(ASPAC01)	木村 理	第一外科	0	補委	財団法人しずおか産業創造機構
StageⅢ結腸癌治療切除例に対する術後補助化学療法としてのUFT/Leucovorin療法とTS-1療法の第Ⅲ相比較臨床試験および遺伝子発現に基づく効果予測因子の探索的研究	木村 理	第一外科	0	補委	財団法人先端医療振興財団
「StageⅡ大腸癌に対する術後補助化学療法に関する研究」第Ⅲ相臨床試験	木村 理	第一外科	0	補委	財団法人先端医療振興財団
StageⅡ大腸癌における分子生物・病理学的マーカーによる再発high-risk群とフッ化ピリミジン感受性群の選択に関する研究	木村 理	第一外科	0	補委	財団法人先端医療振興財団
従来心疾患における心電図同期SPECT(QGS)検査に関する国内臨床データベース作成のための調査研究-慢性腎臓病患者における心電図同期SPECTの有用性検討のための調査研究(AccessⅢ)	渡邊 哲	第一内科	0	補委	財団法人循環器病研究振興財団
「放射線治療を含む標準治療確立のための多施設共同研究」(分担研究課題)「放射線治療を含む集学的治療の研究」	根本 建二	がん臨床センター	500,000	補委	独立行政法人国立がん研究センター
動脈硬化性疾患の危険因子の性差と予防に関する多施設共同前向きコホート研究(NADESICO study)	久保田 功	第一内科	85,000	補委	独立行政法人国立循環器病研究センター
(21指-5)「重症未熟児網膜症の病態解明と治療に関する研究」(分担研究課題)「広範囲網膜カマフラを用いた未熟児の網膜検査と治療に関する研究-山形県における診療体制と課題点」	山下 英俊	眼科	1,500,000	補委	独立行政法人国立成育医療研究センター
「循環器領域における感染対策および感染症の診療指針の確立に関する研究」の分担研究課題「臨床データの収集および解析」	久保田 功	第一内科	900,000	補委	独立行政法人国立循環器病研究センター
「早期診断マルチバイオマーカー開発」(メタボローム解析による血中・体液中代謝物バイオマーカーの開発における肝がん患者の血清の採取および診断)	齋藤 貴史	第二内科	2,000,000	補委	文部科学省研究振興局長
課題番号(21委-6):精神・神経疾患ハイオリソース・レボシトリーの構築及び病因病態の解明に関する研究	加藤 光広	小児科	1,500,000	補委	独立行政法人国立精神・神経医療研究センター
課題番号(21委-6):精神・神経疾患ハイオリソース・レボシトリーの構築及び病因病態の解明に関する研究	加藤 光広	小児科	2,000,000	補委	独立行政法人国立精神・神経医療研究センター
「術中MRIを用いた新規外科治療法の開発」の分担研究課題「MRI低酸素マッピング統合multimodalnavigationおよび術中MRIシステムを用いた新規脳腫瘍治療法の開発」	櫻田 香	脳神経外科	2,000,000	補委	独立行政法人国立がん研究センター

計 66件

- (注) 1 国、地方公共団体又は公益法人から補助金の交付又は委託を受け、当該医療機関に所属する医師等が申請の前年度に行った研究のうち、高度の医療技術の開発及び評価に資するものと判断される主なものを記入すること。
- 2 「研究者氏名」欄は、1つの研究について研究者が複数いる場合には、主たる研究者の氏名を記入すること。
- 3 「補助元又は委託元」欄は、補助の場合は「補」に、委託の場合は「委」に、○印をつけた上で、補助元又は委託元を記入すること。

高度の医療技術の開発及び評価を行う能力を有することを証する書類

2 論文発表等の実績

雑誌名	題名	発表者氏名	所属部門
Clin Exp Nephrol. 2012 Feb; 16(1): 147-155	Relationship between dietary intake and microalbuminuria: findings from the Takahata study.	Sato M	第一内科
Nephrol Dial Transplant. 2011 Dec; 26(12): 3902-3907	Polymorphism of proinflammatory cytokine genes and albuminuria in the Japanese general population: the Takahata study.	Mashima Y	第一内科
EXCLI J. 2011 Nov 24; 10: 246-251	Two cases of bronchiolitis obliterans organizing pneumonia syndrome after postoperative irradiation for breast cancer.	Inoue S	第一内科
Intern Med. 2011 Nov 1; 50(21): 2547-2555	Impact of cigarette smoking on maximal expiratory flows in a general population: the Takahata study.	Nemoto T	第一内科
J Card Fail. 2011 Oct; 17(10): 819-826	Serum pregnancy-associated plasma protein a in patients with heart failure.	Funayama A	第一内科
Circ J. 2011 Sep 22; 75(10): 2439-2444	Elevated cystatin C levels predict the incidence of vasospastic angina.	Funayama A	第一内科
Int J Med Sci. 2011 Aug 29; 8(7): 514-522	Impairment of pulmonary function is an independent risk factor for atrial fibrillation. The Takahata study.	Shibata Y	第一内科
Intern Med. 2011 Aug 15; 50(16): 1649-1655	Difference of clinical course after catheter ablation of atrioventricular nodal reentrant tachycardia between younger and older patients: atrial vulnerability predicts new onset of atrial fibrillation.	Arimoto T	第一内科
Int J Med Sci. 2011 Aug 5; 8(6): 470-478	The relationship between serum uric acid and spirometric values in participants in a health check. The Takahata study.	Aida Y	第一内科
Hypertens Res. 2011 Jul; 34(7): 831-835	Increases in urinary albumin and beta2-microglobulin are independently associated with blood pressure in the Japanese general population: the Takahata Study.	Mashima Y	第一内科
Eur J Clin Invest. 2011 Jul; 41(7): 759-766	8-hydroxy-2'-deoxyguanosine is a prognostic mediator for cardiac event. Eur J Clin Invest.	Suzuki S	第一内科
Int J Med Sci. 2011 May; 8(4): 302-308	Soluble endothelial selectin in acute lung injury complicated by severe pneumonia.	Osaka D	第一内科
J Cardiothorac Surg. 2011 May 8; 6: 65	Differential regulation of diacylglycerol kinase isoform in human failing hearts.	Bilim O	第一内科
Clin Exp Hypertens. 2011 Apr; 33(2): 117-123	Suppressive effects of valsartan on microalbuminuria and CRP in patients with metabolic syndrome (Val-Mets).	Shishido T	第一内科
Clin Exp Nephrol. 2011 Apr; 15(2): 235-241	The association between renal tubular damage and rapid renal deterioration in the Japanese population. The Takahata study.	Kudo K	第一内科
Cell Tissue Res 2011; 343: 371-378	Enhanced expression of fibroblast growth factor 2 in bone marrow cells and its potential role in the differentiation of hepatic epithelial stem-like cells into hepatocyte lineage.	Haga H	第二内科
Stem Cells Dev 2011; 20: 1503-1510	Potential therapeutic application of intravenous bone marrow infusion in patients with alcoholic liver cirrhosis.	Saito T	第二内科
Ann Nucl Med 2011; 25: 520-523	(99m)Tc-GSA SPECT analysis was clinically useful to evaluate the effect of interferon in a patient with interferon non-responsive chronic hepatitis C.	Ishii R	第二内科
肝臓 2011; 52(11): 753-755	B型肝炎ウイルスジェノタイプB型感染高浸淫地区における感染実態の変遷	渡辺久剛	第二内科
Gastroenterological endoscopy 53(8), 2031- 2035, 2011-08-20	痔管空腸吻合部狭窄に対してダブルバルーン内視鏡下狭窄拡張術が有効であった1例	石澤哲也	第二内科
Therapeutic Apheresis and Dialysis 2011 Aug; 15(4): 379-384	Evaluation of the Effect of Ulinastatin on the Production of Macrophage Colony-Stimulating Factor In Vitro for Potential Combination Therapy with Leukocyte Adsorption	西瀬祥一	第二内科
Metabolism-Clinical and Experimental 2011 Sep; 60(9): 1253-1258	Increased levels of serum glucose-dependent insulinotropic polypeptide as a novel risk factor for human colorectal adenoma	佐々木悠	第二内科
Tohoku J Exp Med 2011 Apr; 223(4): 297-303	Increased homeostasis model assessment-insulin resistance is a risk factor for colorectal adenoma in Japanese males	佐藤剛司	第二内科

J Neurosci 2011;31(46):16884-16894	Authentically phosphorylated α -synuclein at Ser129 accelerates neurodegeneration in a rat model of familial Parkinson's disease.	Sato H	第三内科
J Neurol Sci 2011;308:149-151	Familial normal pressure hydrocephalus (NPH) with an autosomal-dominant inheritance: a novel subgroup of NPH.	Takahashi Y	第三内科
Yamagata Med J 2011;29 (1):29-31	Hemolytic uremic Syndrome (HUS) as a rare complication of induction chemotherapy for acute myeloid leukemia (AML) without maturation.	Kato Y	第三内科
Intern Med 2011;50:297-303	Segmental copy number loss of SFMBT1 gene in elderly individuals with ventriculomegaly: a community-based study	Kato T	第三内科
Intern Med 2011;50:999-1007	Plasma fibrinogen, global cognitive function, and cerebral small vessel disease: results of a cross-sectional study in community-dwelling Japanese elderly	Wada M	第三内科
Cancer Science 2011;102(7):1432-1436	Detection of HTLV-1 by means of HBZ gene in situ hybridization in formalin-fixed and paraffin-embedded tissues	Shimizu-Kohno K	第三内科
Metabolism 2011;60:815-822	Association of the clusterin gene polymorphisms with type 2 diabetes mellitus	Daimon M	第三内科
Diabetol Int 2011;2(1):26-31	Assessment of plasma glucose cutoff values to predict the development of type 2 diabetes in a Japanese sample: the Funagata study	Oizumi T	第三内科
Intern Med 2011;50:1671-1678	Impaired glucose metabolism slows executive function independent of cerebral ischemic lesions in Japanese elderly: The Takahata study	Takahashi Y	第三内科
Intern Med. 2011;50:2389-2391	Detection of BCR-ABL-Positive cells in the colostrum of a pregnant patient with chronic myeloid leukemia	Hiroshima Y	第三内科
Intern Med 2011;50(24):3049-3050	α -Synuclein in the skin nerve of pure autonomic failure	Igari R	第三内科
ISRN Neurol 2011;2011:845453	A comprehensive study of repetitive transcranial magnetic stimulation in Parkinson's disease	Kimura H	第三内科
難病と在宅ケア 2011;17(8):62-65	震災発生に伴う在宅療養の問題点と支援	丹治治子	第三内科
薬理と治療. 2011;39 (1) :101-108	β -グルカン強化型大麦食品の継続摂取による耐糖能異常改善効果および安全性の検討	大門真	第三内科
難病と在宅ケア 2011;10 (10):61-65	神経難病患者の在宅医療における無床診療所との連携支援	木村英紀	第三内科
Pediatr Int 2011;53(1):107-110	A case of progressive familial intrahepatic cholestasis type 1 with compound heterozygous mutations of ATP8B1.	Numakura C	小児科
J. Inher. Metab. Dis. 2012, Volume 2, 37-44, doi: 10.1007/8904.2011.42	Treatment with lactose (galactose)-restricted and medium-chain triglyceride-supplemented formula for neonatal intrahepatic cholestasis caused by citrin deficiency	Hayasaka K	小児科
日本小児腎臓病学会雑誌 2011;24(2):218-223	山形県における2例目の小児リボ蛋白糸球体症.	橋本多恵子	小児科
小児がん 2011;48(3):276-283	当院においてRosen T-20プロトコール変法で化療した若年骨肉腫12例.	川上貴子	小児科
Genes Brain Behav 2011; 10(4):385-391	The brain-derived neurotrophic factor Val66Met polymorphism modulates the effects of parental rearing on personality traits in healthy subjects.	Suzuki A	精神科
Neurosci Lett 2011; 503(3):220-223	Functional polymorphism of the GTP cyclohydrolase 1 gene affects the personality trait of novelty seeking in healthy subjects.	Sadahiro R	精神科
Aust N Z J Psychiatry 2011;45(5):427	Delusion of reduplication of tongue accompanied by dangerous self-treatments in a patient with Alzheimer's disease.	Hayashi H	精神科
Compr Psychiatry 2011; 52(5):507-510	Relationships of sociotropy and autonomy with dimensions of the Temperament and Character Inventory in healthy subjects.	Otani K	精神科
Euro J Dermatol 21:649-650, 2011	Dyschromatosis symmetrica hereditaria with acral hypertrophy	村田壺大	皮膚科
J Dermatol. 38:173-178, 2011.	Dystrophic epidermolysis bullosa pruriginosa of elderly onset	林 昌浩	皮膚科
J Dermatol. 38:1003-1006, 2011.	Case of subcutaneous lobular capillary hemangioma	林 昌浩	皮膚科

J Dermatol Sci. 64:217-22, 2011	Oculocutaneous albinism type 3: a Japanese girl with novel mutations in TYRP1 gene	山田真枝子	皮膚科
Enzyme Res. 2011 Mar 8;2011:482498	The Roles of ADAMs Family Proteinases in Skin Diseases	川口雅一	皮膚科
臨床画像 2011;27(1):4-15	特集 Cystic lesion:画像診断のkey point	紺野義浩	放射線診断科
臨床画像 2011;27(10):1203-1207	特集 頭蓋内炎症性疾患の画像診断 脳膿瘍と関連疾患	鹿戸将史	放射線診断科
臨床画像 2011;27(12):1430-1435	特集 がん治療後変化の画像診断 脳腫瘍の治療後変化	渡會文果	放射線診断科
Clin Neurosci 2011;29(12):1431-1433	低髄圧症/脳脊髄液減少症の画像診断—Floating dural sac signについて—	細矢貴亮	放射線診断科
Int J Radiat Oncol Biol Phys 2011;80(1):111-118	Intraoperative radiotherapy for unresectable pancreatic cancer: a multi-institutional retrospective analysis of 144 patients.	根本建二	がん臨床センター
European Journal of Radiology 2011;80(3):749-754	Inverse-direction scanning improves the image quality of whole carotid CT angiography with 64-MDCT.	黒田勇氣	がん臨床センター
日本臨牀 2011;69(6):355-357	食道癌-基礎・臨床研究の進歩-VIII.食道癌の治療 放射線療法 姑息療法	根本建二	がん臨床センター
臨床腫瘍プラクティス別刷 2011;7(4):377-380	特集 胆道がん治療の最新知識5.放射線治療の適応と実際	市川真由美	がん臨床センター
日本外科学会雑誌 Vol.112(3) 2011.170-176	腓頭神経叢の解剖と郭清の意義	木村理	第一外科
内分泌外科 Vol.28(2) 2011.108-115	消化器神経内分泌腫瘍の外科的治療	手塚康二	第一外科
The Journal of Thoracic and Cardiovascular Surgery 2011;141(3)	Anatomic thoracoscopic pulmonary segmentectomy under 3-dimensional multidetector computed tomography simulation:A report of 52consecutive cases.	大泉弘幸	第二外科
Surgery Today 2011;41	A Technique for Retrieving a Lung Lobe in a Bag from a Small Wound During Thoracoscopic Surgery.	大泉弘幸	第二外科
Ann Thorac Surg 2011;92	Morcellation Technique to Remove Large Tumor in Thoracoscopic Surgery.	大泉弘幸	第二外科
日本呼吸器外科学会雑誌 2011;25(5)	術中迅速病理で診断が困難であった Mucinous(“colloid”) adenocarcinomaの1例.	加藤博久	第二外科
胸部外科 2011;64(13)	心タンポナーデを呈した化膿性心外膜炎の1例.	中村健	第二外科
胸部外科 2012;65(1)	特集 小型肺癌の治療戦略とその成績 小型肺癌に対する術式選択と手術成績.	大泉弘幸	第二外科
胸部外科 2012;65(3)	肺動脈弁に発生した乳頭状線維弾性腫の1例.	山下淳	第二外科
日本小児外科学会雑誌 2012;48(2)	小児外傷性肝損傷治療の検討.	江村隆起	第二外科
日本小児外科学会雑誌 2012;48(2)	MEN2B患児に発症した右副腎褐色細胞腫に対する腹腔鏡下副腎部分切除術.	江村隆起	第二外科
Neurologia medico-chirurgica 2011;51(7):512-514	Intraoperative Magnetic Resonance Imaging in the Successful Surgical Treatment of an Arteriovenous Malformation—Case Report—	Sakurada K	脳神経外科
Brain Res 2011;26(8):22-31	The alterations of oligodendrocyte,myelin in corpus callosum,and cognitive dysfunction following chronic cerebral ischemia in rats.	Chida Y	脳神経外科
Sarcoma 2011;2011:doi 10.1155/2011/953047	Technical notes on endoscopic transsphenoidal approach for clival chondrosarcoma.	Kuge A	脳神経外科
Surg Neurol Int 2011;2:3 doi 10.4103/2152-7806.76140	Abscess formation associated with pituitary adenoma:A case report:Changes in the MRI appearance of pituitary adenoma before and after abscess formation.	Kuge A	脳神経外科
脳神経外科ジャーナル 2011;20(12):887-895	頭部外傷に伴う低髄液圧減少症候群の考え方	佐藤慎哉	脳神経外科

脳神経外科 2011;39(7):693-699	脳動脈瘤の新生および増大を観察し得た1症例	渡辺茂樹	脳神経外科
脳卒中の外科 2011;39:222-226	嚥下障害にて発症した頸部内頸動脈瘤の1手術例	山本哲	脳神経外科
J Clin Exp Haematopathol. 2011 ; 51: 77-92	Toll-like receptor. A potent driving force behind rheumatoid arthritis.	高木理彰	整形外科
J Orthop Res. 2011 ; 29 : 984-992	Toll-like receptors and their adaptors are regulated in macrophages after phagocytosis of lipopolysaccharide-coated titanium particles.	平山朋幸	整形外科
Pathol Int. 2011; 61: 565-571	Runx2 expression in developing human bones and various bone tumors.	菅原正登	整形外科
日本脊髄障害医学会雑誌. 2011 ; 24(1) : 34-35	非骨傷性頸髄損傷の疫学調査.	橋本淳一	整形外科
肩関節. 2011 ; 35: 523-525	腱板断裂患者における腱板筋の病理組織像と肩の筋力との関係.	鶴田大作	整形外科
東日本震災誌. 2011 ; 23(1) : 82-85	Kirner変形の単純X線像の特徴.	佐竹寛史	整形外科
日手会雑誌. 2011 ; 28(3) : 227-230	小児上腕骨外頰骨折における単純X線側面像の検討.	江藤淳	整形外科
東北震災誌. 2011 ; 55(1) : 118-122	片側transarticular screwに対側C1 lateral mass screw, C2 lamina screwを併用し環軸椎後方固定を行った3例.	鈴木智人	整形外科
日整会誌. 2011 ; 85 : 942-946	立位一仰臥位X線側面像による骨粗鬆症性椎体骨折偽関節危険因子の検討.	杉田誠	整形外科
肩関節. 2011 ; 35 : 779-781	Bioknotless suture anchorを用いた鏡視下Bankart法の成績.	村成幸	整形外科
第61回日本救急医学会関東地方会雑誌.2011 ; 32 : 52-53	高齢者寛骨臼骨折に対して一期的に観血的修復固定術と人工股関節全置換術を行った1例.	門馬亮介	整形外科
日手会誌.2011 ; 27(6) : 812-818	Wassel分類4型母指多指症におけるIP関節の偏位と軟部組織による偏位矯正を行った機側母指切除術の成績.	渡邊忠良	整形外科
日手会誌. 2011 ; 27(6) : 683-686	手根管症候群に対する手術療法とトリアムシロン注射療法における治療成績の比較.	渡邊忠良	整形外科
Molecular and Cellular Neuroscience 2011;48:217-224	Estrogen induces neurite outgrowth via Rho family GTPases in neuroblastoma cells	高橋一広	産科婦人科
Biology of Reproduction 2011;85:895-906	Bezafibrate restores the inhibition of FSH-induced follicular development and steroidogenesis by tumor necrosis factor- α through peroxisome proliferator-activated receptor- γ pathway in an in vitro mouse preantral follicle culture	原周一郎	産科婦人科
Climacteric 2011;14:445-452	Impact of surgical menopause on lipid and bone metabolism	吉田隆之	産科婦人科
Tohoku Journal of Experimental Medicine 2011;223(2):91-96	Identifying prognostic factors in Japanese women with pseudomyxoma peritonei: a retrospective clinico-pathological study of the Tohoku Gynecologic Cancer unit	小島原敬信	産科婦人科
Cancer Biology and Therapy 2012;1:25-33	Inhibition of the Rho/ROCK pathway enhances the efficacy of cisplatin through the blockage of hypoxia-inducible factor-1 α in human ovarian cancer cells	太田剛	産科婦人科
Fetal Diagnosis and Therapy 2012;Feb 18 [Epub ahead of print]	A case of boomerang dysplasia with a novel causative mutation in FLNB: indentification of typical imaging findings on ultrasonography and 3D-CT imaging	堤誠司	産科婦人科
臨床眼科2011;65:97-101	特発性黄斑円孔手術後の腹臥位時間短縮の試み	望月典子	眼科
臨床眼科2011;65:1695-1702	網膜静脈分枝閉塞症における硝子体手術の長期効果	桐井枝里子	眼科
Ophthalmic Epidemiology 2011;18:244-249	Determinants and risk factors for central corneal thickness in Japanese persons: the Funagata study	Nishitsuka K	眼科
Metabolic Syndrome and Related Disorders 2011; 9 :427-432	Screening for retinal vessel caliber and its association with metabolic syndrome in Japanese adults.	Saito K	眼科
Jpn J Ophthalmol 2011;55:660-669	Hyaluronan production and hyaluronan synthase expression in three human conjunctiva-derived cell strains.	Kashiwagi Y	眼科

Diabetologia 2011;54:2288-2294	Incidence and progression of diabetic retinopathy in Japanese adult with type 2 diabetes: 8-year follow-up study of the Japan Diabetes Complications Study (JDACS)	Kawasaki R	眼科
Ophthalmic Epidemiology 2011;18:253-8.	Is bilateral age-related macular degeneration less common in Asians than Caucasians?	Kawasaki R	眼科
Neurology 2011;75:1766-1767	Fractal Dimension of the Retinal Vasculature and Risk of Stroke: A Nested Case-control study	Kawasaki R	眼科
Ophthalmology 2011;118:860-865	Multi-Ethnic Study of Atherosclerosis. Is Diabetic Retinopathy Related to Subclinical Cardiovascular Disease?	Kawasaki R	眼科
日眼会誌2011;115(6):523-528	トリアムシノロンによる無菌性眼内炎調査	山下英俊	眼科
あたらしい眼科 2011;28(2):287-292	網膜静脈分枝閉塞症に対する硝子体手術およびトリアムシノロン硝子体内投与の短期効果についての検討	神尾聡美	眼科
Facial N Res Jpn 2011;31:55-57	CLCN7関連大理石病(中間型)に合併した顔面神経麻痺の1例	古川孝俊	耳鼻咽喉科
アレルギー免疫 2011;18(11)	イネ科花粉飛散時期のアレルギー性鼻炎患者におけるオロパタジン塩酸塩(アレロック®)の治療効果と夜間睡眠障害・日常生活への影響.	鈴木祐輔	耳鼻咽喉科
耳鼻咽喉科免疫アレルギー vol.30 No.1	IgG4関連疾患—その最新の知見について—	倉上和也	耳鼻咽喉科
Auris Nasus Larynx 38(2):240-243, 2011	Treatment of salivary mucocele of the lower lip by OK-432	太田伸男	耳鼻咽喉科
Auris Nasus Larynx 38(1):77-82, 2011	Increase of Th2 and Tc1 cells in patients with Kimura's disease.	太田伸男	耳鼻咽喉科
Auris Nasus Larynx 38(3):362-366, 2011	In situ expression of CD23 in lymph nodes of patients with Kimura's disease.	太田伸男	耳鼻咽喉科
Auris Nasus Larynx 38(3):421-425, 2011	Differentiated posterior cervical liposarcoma with carcinoid. Report of case and review of literature.	太田伸男	耳鼻咽喉科
アレルギー免疫 2011; 18:1692-1699	イネ科花粉飛散時期のアレルギー性鼻炎患者におけるオロパタジン塩酸塩の治療効果と夜間睡眠障害・日常生活への影響	太田伸男	耳鼻咽喉科
アレルギー免疫 2011; 18:1512-1520	近距離で測定したリアルタイム花粉モニター(KH3000)測定値の相互比較	太田伸男	耳鼻咽喉科
European Journal of Cancer 2011;47(17):2592-2602	Key predictive factors of axitinib (AG-013736)-induced proteinuria and efficacy: a phase II study in Japanese patients with cytokine-refractory metastatic renal cell carcinoma	Tomita Y	泌尿器科
人工呼吸 2011;28(2):168-176	急性呼吸窮迫症候群(ARDS)に対する肺保護戦略	小田真也	麻酔科
日本有病者歯科医療学会雑誌. 2011;20(1):21-24	再生不良性貧血患者に発症したシクロスポリン誘発性歯肉増殖症の1例	櫻井博理	歯科口腔・形成外科
Hospital Dentistry & Oral-Maxillofacial Surgery. 2011;23(1):47-50	下顎骨区域欠損により生じた睡眠時無呼吸症候群に対し自主徒手訓練と口腔内装具の併用により著明な治療効果が得られた1例.	尾崎尚	歯科口腔・形成外科
Hospital Dentistry & Oral-Maxillofacial Surgery. 2011;23(1):67-72	両側上下顎に生じた多発性周辺性外骨症の1例	小林武仁	歯科口腔・形成外科
日本歯科技工学会雑誌 2012;32(2):122-126	歯科技工士の作業管理に関する調査研究～職場の違いに着目して～.	石川恵生	歯科口腔・形成外科
日本口腔腫瘍学会. 2012; 24(1):29-34	顎下腺に生じた上皮筋上皮癌と肺癌の重複癌の1例.	櫻井博理	歯科口腔・形成外科
Movement disorder 26(5):837-843, 2011	Illusory misidentifications and cortical hypometabolism in Parkinson's disease.	鈴木匡子	高次脳機能科
Neuropsychologia 49:1962-1968,2011	Neural substrates for writing impairments in Japanese patients with mild Alzheimer's disease: A SPECT study.	鈴木匡子	高次脳機能科
Movement Disorders 26(4):621-628, 2011	Association of olfactory dysfunction and brain metabolism in Parkinson's disease.	鈴木匡子	高次脳機能科
Internal medicine 50(16):1671-1678, 2011	Impaired glucose metabolism slows executive function independent of cerebral ischemic lesions in Japanese elderly: The Takahata study.	鈴木匡子	高次脳機能科

Brain 135(1):161-169, 2012	Severe olfactory dysfunction is a prodromal symptom of dementia associated with Parkinson's disease: a 3-year longitudinal study	鈴木匡子	高次脳機能科
臨床神経 51(11):930-933, 2011	非典型認知症への臨床的アプローチ	鈴木匡子	高次脳機能科
神経心理学 28(1):23-28, 2012	視覚性認知障害	鈴木匡子	高次脳機能科
日本消化器病学会雑誌 108巻5号 Page813-818	低用量ネダプラチン・5FU併用放射線治療が著効した、重度肝障害をともない全身状態不良の肝転移を有する食道癌の1例	福井忠久	腫瘍内科
J Epidemiol 2012;22(2) 86-90	Infection control in healthcare settings in Japan	Morikane K	検査部
Hip Joint.2011 ; 37 : 172-175	人工股関節全置換術と周術期リハビリテーションを受けた末期変形性股関節症患者における足関節底屈筋力の検討,歩行能力との関係に着目して	石川雅樹	リハビリテーション部
耳鼻咽喉科臨床. 2011;(補冊130号):31~34	乳幼児における聴性定常反応の有用性	千葉寛之	リハビリテーション部
Path Res Pract 2011;207:317-321	Angioimmunoblastic T-cell lymphoma with dual genotype of TCR and IgH genes.	Aung NY	病理部
J Rheumatol 2011;38:810-820	Expression of Toll-like receptors and their signaling pathways in rheumatoid synovitis.	Tamaki Y	病理部
Auris Nasus Larynx 2011;38:362-366	In situ expression of CD23 in lymph nodes of patients with Kimura's disease.	Akatsuka N	病理部
外科治療 2011;104:417-420	切除・再発をくり返す過程で癌化を呈した乳腺アポクリン腺癌の一症例	石山智敏	病理部
医療薬学 2011;23(9):529-533	多量の浸出液を伴うがん性悪臭に対してダラシンパテが有用であった一例と軟膏基剤の吸水性の評価	志田敏宏	薬剤部
日本病院薬剤師会雑誌 2011;47(7):869-871	SPD導入による手術部担当薬剤師の業務効率化と経済効果	加藤祐太	薬剤部
医療薬学 2012;38(2):87-94	ガウンの素材違いによる抗がん剤透過の危険性の検討	志田敏宏	薬剤部
中毒研究 2012;25(1):59-64	アセトアミノフェン中毒症例の血中濃度に関する検討	富永綾	薬剤部

合計:142

(注) 1 当該医療機関に所属する医師等が、掲載に当たって内容審査を行っている雑誌に研究成果を原著論文として申請の前年度に発表したもののうち、高度の医療技術の開発および評価に資するものと判断されるものを100件以上記入すること(当該医療機関に所属する医師等が主たる研究者であるものに限る。)

2 「発表者氏名」欄は、1つの論文発表について発表者が複数いる場合は、主たる発表者の氏名を記入すること。

診療並びに病院の管理及び運営に関する諸記録の管理方法

管理責任者氏名	病院長 久保田 功
管理担当者氏名	薬剤部長 白石 正, 看護部長 那須 景子, 総務課長 成田 博昭, 医事課長 菅原 幹夫

	保管場所	管理方法		
診療に関する諸記録 病院日誌	総務課	ファイルにて年度毎に分類, 保管している。		
各科診療日誌 病棟日誌	看護部	ファイルにて年度毎に分類, 保管している。		
処方せん	薬剤部	紙面にて入院, 外来別, 月毎に分類, 保管している。		
手術記録, 看護記録, 検査所見記録, エックス線写真, 紹介状, 退院した患者に係る入院期間中の診療経過の要約及び入院診療計画書	医療情報部 (診療記録室)	カルテ等病歴資料は, 外来入院別に1患者1ファイル方式とし, エックス線写真は1患者1資料袋方式及び電子カルテ上で, 共にコンピュータによる集中管理を行っている。 手術記録は該当患者のカルテに添付して保管している。		
病院の管理及び運営に関する諸記録	従業者数を明らかにする帳簿	総務課	各担当でファイルにて年度毎に分類, 保管している。	
	高度の医療の提供の実績	医事課		
	高度の医療技術の開発及び評価の実績	医事課		
	高度の医療の研修の実績	総務課		
	閲覧実績	総務課		
	紹介患者に対する医療提供の実績	医事課		
	入院患者, 外来患者及び調剤の数を明らかにする帳簿	医事課, 薬剤部		
	第規一則	医療に係る安全管理のための指針の整備状況	医事課	各担当でファイルにて年度毎に分類, 保管している。
	項第一	医療に係る安全管理のための委員会の開催状況	医事課	
	第一条	医療に係る安全管理のための職員研修の実施状況	医事課	
号の十	医療機関内における事故報告等の医療に係る安全の確保を目的とした改善のための方策の状況	医事課		
掲一	専任の医療に係る安全管理を行う者の配置状況	総務課		
掲一	専任の院内感染対策を行う者の配置状況	総務課		
掲一	医療に係る安全管理を行う部門の設置状況	医事課		
掲一	当該病院内に患者からの安全管理に係る相談に適切に応じる体制の確保状況	医事課		
掲一				

			保管場所	分類方法
病院の管理及び運営に関する諸記録	規則第一条の十一第一項各号及び第九条の二十三第一項第一号に掲げる体制の確保の状況	院内感染のための指針の策定状況	医事課	各担当でファイルにて年度毎に分類、保管している。
		院内感染対策のための委員会の開催状況	医事課	
		従業者に対する院内感染対策のための研修の実施状況	医事課	
		感染症の発生状況の報告その他の院内感染対策の推進を目的とした改善のための方策の実施状況	感染制御部	
		医薬品の使用に係る安全な管理のための責任者の配置状況	薬剤部	
		従業者に対する医薬品の安全使用のための研修の実施状況	薬剤部	
		医薬品の安全使用のための業務に関する手順書の作成及び当該手順書に基づく業務の実施状況	薬剤部	
		医薬品の安全使用のために必要となる情報の収集その他の医薬品の安全使用を目的とした改善のための方策の実施状況	薬剤部	
		医療機器の安全使用のための責任者の配置状況	総務課	
		従業者に対する医療機器の安全使用のための研修の実施状況	MEセンター	
医療機器の保守点検に関する計画の策定及び保守点検の実施状況	MEセンター			
医療機器の安全使用のために必要となる情報の収集その他の医療機器の安全使用を目的とした改善のための方策の実施状況	MEセンター			

(注) 「診療に関する諸記録」欄には、個々の記録について記入する必要はなく、全体としての管理方法の概略を記入すること。

(様式第 13)

病院の管理及び運営に関する諸記録の閲覧方法及び紹介患者に対する医療提供の実績

○病院の管理及び運営に関する諸記録の閲覧方法

閲覧責任者氏名	病院長 久保田 功
閲覧担当者氏名	総務課長 成田 博昭
閲覧の求めに応じる場所	管理棟 第二会議室

○病院の管理及び運営に関する諸記録の閲覧の実績

前年度の総閲覧件数		延	0件
閲覧者別	医師	延	0件
	歯科医師	延	0件
	国	延	0件
	地方公共団体	延	0件

○紹介患者に対する医療提供の実績

紹介率	78.3%	算定期間	平成23年4月1日～平成24年3月31日
算出根拠	A：紹介患者の数		7,952人
	B：他の病院又は診療所に紹介した患者の数		6,641人
	C：救急用自動車によって搬入された患者の数		1,759人
	D：初診の患者の数		14,236人

- (注) 1 「紹介率」欄は、A、B、Cの和をBとDの和で除した数に100を乗じて小数点以下第1位まで記入すること。
2 A、B、C、Dは、それぞれの延数を記入すること。

(様式第 13-2)

規則第1条の11第1項各号及び第9条の23第1項第1号に掲げる体制の確保の状況

① 医療に係る安全管理のための指針の整備状況	有・無
<p>・ 指針の主な内容：</p> <ol style="list-style-type: none">(1) 本院における医療の安全管理に関する基本的な考え方(2) 本院における医療の安全管理のための組織及び体制に関する基本的事項(3) 本院において医療の安全管理のために医療従事者に対して実施する研修に関する基本方針(4) 本院における医療事故の報告等、医療に係る安全の確保を目的とした改善のための方策に関する基本方針(5) 本院における医療事故等発生時の対応に関する基本方針(6) 本院の医療従事者と患者との間の情報の共有に関する基本方針(7) 本院の患者からの相談への対応に関する基本方針(8) その他、本院の医療安全の推進のために必要な基本方針	
② 医療に係る安全管理のための委員会の開催状況	年 21回
<p>・ 活動の主な内容：</p> <ol style="list-style-type: none">(1) 医療事故等の院内報告体制に関すること(2) 医療事故等の原因分析、改善策の立案及び実施、並びに従事者への周知に関すること(3) 医療事故防止に関する改善策の検証及び見直しに関すること(4) 医療安全管理に関する啓発及び普及並びに研修に関すること(5) その他医療安全管理に関する必要な事項	
③ 医療に係る安全管理のための職員研修の実施状況	年 11回
<p>・ 研修の主な内容：</p> <ol style="list-style-type: none">(1) 医療に係る安全管理のための基本的考え方及び具体的方策について、従業者に周知徹底を行うことで、個々の従業者の安全に対する意識・安全に業務を遂行するための技能やチームの一員としての意識の向上等を図る内容(2) 本院における具体的な事例等を取り上げた内容(3) 当院全体に共通する安全管理に関する内容	
④ 医療機関内における事故報告等の医療に係る安全の確保を目的とした改善のための方策の状況	
<p>・ 医療機関内における事故報告等の整備 (有・無)</p> <p>・ その他の改善のための方策の主な内容：</p> <ol style="list-style-type: none">(1) あらかじめ定められた手順、事故収集の範囲等に関する規定に従い事例を収集・分析することで、当院における問題点を把握し、組織としての改善策の企画立案及びその実施状況を評価し、これらの情報を共有する。(2) 重大な事故の発生時には、速やかに管理者へ報告する。また、改善策については、背景要因及び根本原因を分析し、検討された効果的な再発防止策を立案する。	

⑤ 専任の医療に係る安全管理を行う者の配置状況	㊟ (1名)・無
⑥ 専任の院内感染対策を行う者の配置状況	㊟ (2名)・無
⑦ 医療に係る安全管理を行う部門の設置状況	㊟・無
<ul style="list-style-type: none"> ・ 所属職員： 専任（2）名 兼任（14）名 ・ 活動の主な内容： <ul style="list-style-type: none"> (1) 医療事故等防止対策委員会の会議に関する事、その他庶務に関する事 (2) インシデント報告の分析及び医療事故防止対策の策定に関する事 (3) 安全管理のための研修、啓発普及、教育等の企画立案及び実施に関する事 (4) 事故等に関する診療録等への記録の記載の確認・指導に関する事 (5) 事故発生時の患者及び家族への対応状況の確認・指導に関する事 (6) 事故等の原因究明についての確認・指導に関する事 (7) 医療安全管理に係る連絡調整に関する事 (8) その他医療安全対策の推進に関する事 	
⑧ 当該病院内に患者からの安全管理に係る相談に適切に応じる体制の確保状況	㊟・無

院内感染対策のための体制の確保に係る措置

① 院内感染対策のための指針の策定状況	☑・無
<ul style="list-style-type: none">・ 指針の主な内容：<ul style="list-style-type: none">(1) 本院における院内感染対策に関する基本的な考え方(2) 本院における院内感染対策のための委員会及びその他の組織に関する基本的事項(3) 本院における院内感染対策のために医療従事者に対して実施する研修に関する基本方針(4) 本院における感染症の発症状況の報告に関する基本方針(5) 本院における院内感染発生時の対応に関する基本方針(6) 本院の患者等に対する当該指針の閲覧に関する基本方針(7) その他、本院の院内感染対策推進のために必要な基本方針	
② 院内感染対策のための委員会の開催状況	年 11回
<ul style="list-style-type: none">・ 活動の主な内容：<ul style="list-style-type: none">(1) 重要な検討内容について、院内感染発生時及び発生が疑われる際の患者への対応状況を含め、管理者に報告する。(2) 院内感染が発生した場合は、速やかに発生の原因を分析し、改善策の立案及び実施並びに従業者への周知徹底を図る。(3) 感染対策委員会で立案された改善策の実施状況を必要に応じて調査し、見直しを行う。	
③ 従業者に対する院内感染対策のための研修の実施状況	年 6回
<ul style="list-style-type: none">・ 研修の主な内容：<ul style="list-style-type: none">(1) 院内感染対策のための基本的考え方及び具体的方策について、従業者に周知徹底を行うことで個々の従業者の院内感染に対する意識を高め、業務を遂行する上での技能やチームの一員としての意識向上等を図る内容。(2) 病院の実情に即した内容。(3) 病院全体に共通する院内感染に関する内容。	
④ 感染症の発生状況の報告その他の院内感染対策の推進を目的とした改善のための方策の状況	
<ul style="list-style-type: none">・ 病院における発生状況の報告等の整備 (☑・無)・ その他の改善のための方策の主な内容：<ul style="list-style-type: none">(1) 毎月1回院内の感染状況のサーベイランスを実施し、感染対策委員会・感染制御部会議で報告。感染症の発生動向を共有し、院内感染の予防及びまん延の防止を図る。また、ICTラウンド時等の重点指導項目として活用する。 (MRSA, 多剤耐性緑膿菌等主要検出菌10数種を週報として把握)(2) 院内感染対策の指針に則した院内感染対策マニュアル「院内感染対策の手引き」を整備し、各部署に配布、ならびに院内ネットワークにより電子媒体で提供している。また、各部門の感染対策担当者が毎月感染制御部に周知状況を報告、ICTラウンド時にも周知状況・理解度等を確認することにより、その周知状況の把握・検証を図っている。	

(様式第 13-2)

医薬品に係る安全管理のための体制の確保に係る措置

① 医薬品の使用に係る安全な管理のための責任者の配置状況	有・無
② 従業者に対する医薬品の安全使用のための研修の実施状況	年 4回
<ul style="list-style-type: none">・ 研修の主な内容：<ul style="list-style-type: none">(1) 医薬品の有効性・安全性に関する情報、使用方法に関する事項(2) 医薬品の安全使用のための業務に関する手順書に関する事項(3) 医薬品による副作用等が発生した場合の対応に関する事項	
③ 医薬品の安全使用のための業務に関する手順書の作成及び当該手順書に基づく業務の実施状況	
<ul style="list-style-type: none">・ 手順書の作成 (有・無)・ 業務の主な内容：<ul style="list-style-type: none">(1) 本院で用いる医薬品の採用・購入に関する事項(2) 本院における医薬品の管理に関する事項(3) 本院の患者に対する医薬品の投薬指示から調剤に関する事項(4) 本院の患者に対する与薬や服薬指導に関する事項(5) 本院における医薬品の安全使用に係る情報の取扱いに関する事項(6) 本院と他施設との連携に関する事項	
④ 医薬品の安全使用のために必要となる情報の収集その他の医薬品の安全使用を目的とした改善のための方策の実施状況	
<ul style="list-style-type: none">・ 医薬品に係る情報の収集の整備 (有・無)・ その他の改善のための方策の主な内容：<ul style="list-style-type: none">(1) 厚生労働省からの副作用情報(2) 採用医薬品の一増一減徹底(3) 危険薬のリスト作成、病棟への配布(4) 最大投与量のチェックシステム構築	

医療機器に係る安全管理のための体制の確保に係る措置

① 医療機器の安全使用のための責任者の配置状況	☑・無
② 従業者に対する医療機器の安全使用のための研修の実施状況	年 14回
<ul style="list-style-type: none">・ 研修の主な内容：<ol style="list-style-type: none">(1) 医療機器の有効性・安全性に関する事項(2) 医療機器の使用方法に関する事項(3) 医療機器の保守点検に関する事項(4) 医療機器の不具合等が発生した場合の対応に関する事項(5) 医療機器の使用に関して特に法令上遵守すべき事項	
③ 医療機器の保守点検に関する計画の策定及び保守点検の実施状況	
<ul style="list-style-type: none">・ 計画の策定 (☑・無)・ 保守点検の主な内容：<p>特に保守点検が必要と考えられる医療機器に対する保守点検の状況は以下のとおりである。</p><ol style="list-style-type: none">①人工心肺装置及び補助循環装置については、始業点検及び定期点検(年1回)を実施している。②人工呼吸器については、始業点検及び定期点検(年1回)を実施している。③血液浄化装置については、始業時、使用中、終了時の点検及び定期点検(年1回)を実施している。④除細動装置については、定期点検(1年に1回)を実施している。⑤閉鎖式保育器については、定期点検(年1回)を実施している。⑥診療用高エネルギー放射線発生装置については、始業、終業点検及び定期点検(年4回)を実施している。⑦診療用放射線照射装置については、始業、終業点検及び定期点検(年1回)を実施している。⑧シリンジポンプ、輸液ポンプについては定期点検(年1回)を実施している。	
④ 医療機器の安全使用のために必要となる情報の収集その他の医療機器の安全使用を目的とした改善のための方策の実施状況	
<ul style="list-style-type: none">・ 医療機器に係る情報の収集の整備 (☑・無)・ その他の改善のための方策の主な内容：<ol style="list-style-type: none">(1) 医療機器添付文書等の管理(2) 医療機器の不具合や健康被害等に関する情報を病院長へ報告(3) 医療安全管理部との情報の共有や合同勉強会の開催	